

平成 23 年 9 月

「富士山」の世界文化遺産推薦について（案）

1. 名 称

「富士山」 Fujisan

2. 所在地

山梨県・静岡県

3. 暫定一覧表記載年月

平成19(2007)年1月

4. 共同推薦省庁

文化庁、環境省及び林野庁

5. 概 要

富士山は、標高3,776mと日本一の高さを誇る独立峰で、荘厳な円錐形の形姿をもつ成層火山である。

富士山は、古来自然物、特に山岳に対する信仰の伝統を持っていた日本人に畏敬の念を抱かせ、日本における様々な宗教・宗派を超えて信仰の対象とされてきた。遙拝・巡礼・登拝の場となったため、山頂、山域及び山麓に登山道や神社・仏教施設などが整備され、同時に山麓に点在する風穴・溶岩樹型・湧水・湖沼等を霊地や巡礼地とする宗教活動も活発化した。

また、周辺の湖沼群や海岸などから展望される富士山の荘厳な形姿は、時代を超えて多くの人々に賞賛され、芸術的な創作活動に対する意欲を掻き立ててきた。特に19世紀前半の葛飾北斎や歌川広重の浮世絵に描かれた富士山の図像は西洋美術のモチーフにも多用され、日本及び日本文化を象徴する記号として海外にも定着している。

富士山の顕著な普遍的価値

信仰の対象

山頂の信仰遺跡
登山道
浅間神社の境内地
山麓の霊場・巡礼地

芸術の源泉

山域の展望景観
展望地点

名山としての景観

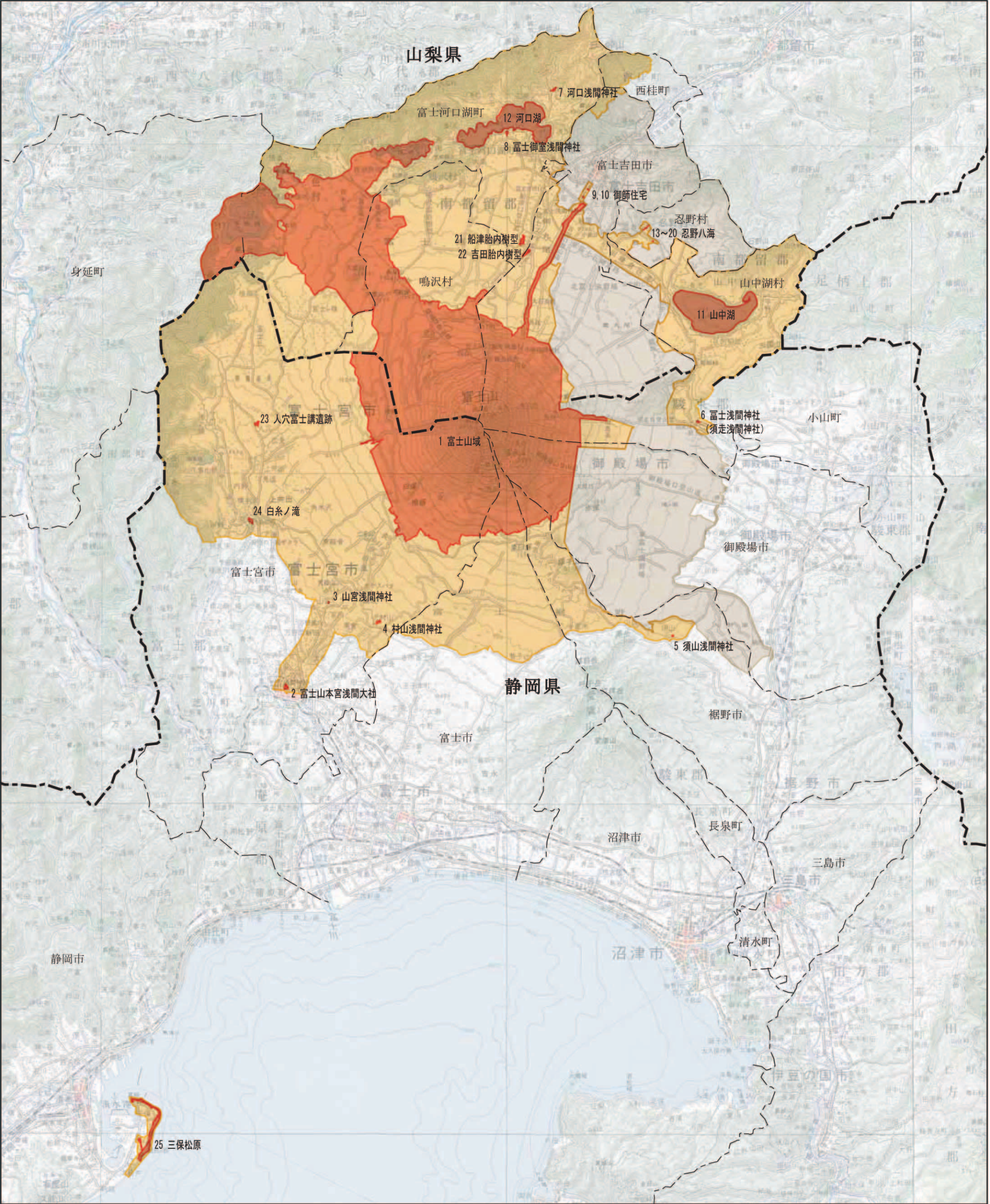
- 評価基準(iii) 「富士山信仰」という山に対する固有の文化的伝統を表わす証拠
- 評価基準(iv) 世界的な「名山」としての景観の類型の顕著な事例
- 評価基準(vi) 顕著な普遍的意義を持つ芸術作品との直接的・有形的な関連性

6. 資産の保護措置

文化財保護法、自然公園法及び国有林野の管理経営に関する法律

7. 構成資産一覧

No	構成資産
1	富士山城（ふじさんいき）
	1-1 山頂の信仰遺跡（さんちょうのしんこういせき）
	1-2 大宮・村山口登山道（現富士宮口登山道）（おおみや・むらやまぐちとざんどう（げんふじのみやぐちとざんどう））
	1-3 須山口登山道（現御殿場口登山道）（すやまぐちとざんどう（げんごてんばぐちとざんどう））
	1-4 須走口登山道（すばしりぐちとざんどう）
	1-5 吉田口登山道（よしだぐちとざんどう）
	1-6 北口本宮富士浅間神社（きたぐちほんぐうふじせんげんじんじゃ）
	1-7 西湖（さいこ）
	1-8 精進湖（しょうじこ）
	1-9 本栖湖（もとすこ）
2	富士山本宮浅間大社（ふじさんほんぐうせんげんたいしゃ）
3	山宮浅間神社（やまみやせんげんじんじゃ）
4	村山浅間神社（むらやませんげんじんじゃ）
5	須山浅間神社（すやませんげんじんじゃ）
6	富士浅間神社（須走浅間神社）（ふじせんげんじんじゃ（すばしりせんげんじんじゃ））
7	河口浅間神社（かわぐちあさまじんじゃ）
8	富士御室浅間神社（ふじおむろせんげんじんじゃ）
9	御師住宅（旧外川家住宅）（おしじゅうたく（きゅうとがわけじゅうたく））
10	御師住宅（小佐野家住宅）（おしじゅうたく（おさのけじゅうたく））
11	山中湖（やまなかこ）
12	河口湖（かわぐちこ）
13	忍野八海（出口池）（おしのはっかい（でぐちいけ））
14	忍野八海（お釜池）（おしのはっかい（おかまいけ））
15	忍野八海（底抜池）（おしのはっかい（そこなしいけ））
16	忍野八海（銚子池）（おしのはっかい（ちょうしいけ））
17	忍野八海（湧池）（おしのはっかい（わくいけ））
18	忍野八海（濁池）（おしのはっかい（にごりいけ））
19	忍野八海（鏡池）（おしのはっかい（かがみいけ））
20	忍野八海（菖蒲池）（おしのはっかい（しょうぶいけ））
21	船津胎内樹型（ふなつたいないじゅけい）
22	吉田胎内樹型（よしだたいないじゅけい）
23	人穴富士講遺跡（ひとあなふじこういせき）
24	白糸ノ滝（しらいとのだき）
25	三保松原（みほのまつばら）



- 凡例
- 構成資産
 - 緩衝地帯
 - 保全管理区域

- 県境
- 市町村境

